

平成 24 年度福島県保険者協議会研修会開催要領

1 目 的

我が国の慢性人工透析患者は年々増加傾向にあり、福島県においても、人口 100 万対で平成 17 年患者数 1,090 人から 22 年には 2,026 人と増加傾向にある。人工透析療法は週 2 ~ 3 回実施する患者が多く、1 人あたり 1 ヶ月の保険点数（医科）は 40,000 点前後、年間 500 万円近い医療費となっている。各保険者においても人工透析患者が 1 人増加することは、大きな医療費の増加をもたらすこととなる。

人工透析療法の導入は慢性腎臓病（CKD）の終末像とされるが、人工透析療法に至る前に心血管疾患の発症リスクが高いことが明らかとなっている。福島県では心筋梗塞及び脳梗塞の年齢調整別死亡率が平成 22 年度全国 1 位となるなど心血管疾患の死亡率が極めて高い状態にある。心血管疾患予防には、高血圧、糖尿病、LDL - C 高値等、メタボリックシンドローム対策に加え、CKD 対策も重点的に行っていくことが重要とされている。

今回は福島県内の保健医療従事者が、慢性腎臓病（CKD）疾病構造、心腎連関、治療など最新の情報を得ることにより、CKD 進展予防及び心血管疾患予防についての知識の向上を図り保健指導に活用し、今後の事業の取組みに活かしていくことをねらいとする。

2 主 催

福島県保険者協議会

3 参 加 者

県内各医療保険者

特定健診・特定保健指導実施機関の保健指導従事者

4 日 時

平成 25 年 1 月 23 日（水） 午後 1 時 30 分 ~

5 場 所

福島市「杉妻会館 4 F 牡丹」（住所：福島市杉妻町 3 - 4 5）

6 研修内容

（1）情報提供 「国保における人工透析の概況について」

福島県国民健康保険団体連合会

（2）講 演 「慢性腎臓病（CKD）対策における保健指導の意義」

講 師：福島県立医科大学医学部

腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座

教 授 渡 辺 毅 氏

7 その他

- ・研修会参加申込みは、別紙「出席報告書」により平成25年1月16日(水)までFAXにて送付のこと。
- ・杉妻会館の駐車場は数に限りがありますので、国保会館駐車場をご利用ください。